

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

ふなばしアンデルセン公園を拠点とした交流人口増加・地域経済活性化計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

船橋市

3 地域再生計画の区域

船橋市の全域

4 地域再生計画の目標

全国では人口減少が始まっている中、東京圏に位置する本市においても、平成37年を目途に人口減少局面に転じる見込みとなっている。人口減少は、消費・経済の停滞を招くことから、少子化対策や定住促進などの施策に取り組むほか、交流人口増加に向けた施策を推進し、来訪者に地域で消費してもらうことで、地域経済の活性化を図っていく必要がある。

一方、船橋市の主要な観光施設である、ふなばしアンデルセン公園では、魅力ある公園づくりを推進することで、近年来場者が増加している（平成24年度 52.4万人⇒平成27年度 90.5万人）。また地域経済分析システムによると、9割以上が市外からの来訪（平成27年・休日・自動車）となっており、市外からの交流人口も獲得できている。しかし、現在ある公園内の既設店舗は、休日・夏休み期間などは大変混雑しており、せっかく市外から獲得した交流人口の消費機会を逃してしまっていると同時に、公園の満足度を下げる要因となりかねないことが課題である。

そこで、ふなばしアンデルセン公園の来場者増加を地域消費拡大につなげる施設を整備することで、地域経済の活性化を図る。そして、人口減少時代にあっても、活気と賑わいのあるまちであり続けることを目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
ふなばしアンデルセン公園の売店事業年間利益	29.84百万円	0.16百万円	1百万円	3百万円
観光入込客数	174.4万人	1.6万人	4万人	6万人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
ふなばしアンデルセン公園の売店事業年間利益	3百万円	3百万円	10.16百万円
観光入込客数	7万人	7万人	25.6万人

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

公園内に軽食・喫茶の提供と土産品を販売するカフェテリアタイプの店舗を新たに整備する。新店舗では、本市特産の農産物を使用した加工品など、地域にとって経済効果の高い品を扱う。また、集客力ある市内観光資源を回遊する観光ツアーを開催する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

船橋市

② 事業の名称：ふなばしアンデルセン公園を拠点とした交流人口増加・地域経済活性化事業

③ 事業の内容

公園内に軽食・喫茶の提供と土産品を販売するカフェテリアタイプの店舗を新たに整備し、来場者の増加を消費拡大につなげていく。新店舗では、

なるべく消費拡大が地域経済の活性化につながるように、本市特産の農産物を使用した加工品など、地域にとって経済効果の高い品を扱う。また、来場者の利便性を確保することにより、満足度を高めることにつなげ、リピーターとなってもらうことを狙う。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

来場者の増加に伴い、公園内の既設店舗の売上額は増加傾向にある。休日・夏休み期間中などは大変混雑しており、来場者からは売店を増やして欲しいという要望も多いことから、来場者の需要はあると言え、収益性も高いと見込まれる。現在ある同規模の店舗の売上実績から、初年度より運営費を賄う売上を出し、自立した運営をできる見込みである。

また市南部には臨海部の大型商業施設、船橋漁港、工場見学のできる京葉食品コンビナート、ふなばし三番瀬海浜公園など豊富な観光資源がある。市北部に位置するふなばしアンデルセン公園を含め、市内を回遊する観光ツアーを開催し、市全体の交流人口増加及び消費拡大を目指す。平成28年度、地方創生加速化交付金を活用して実施した「東京湾ツーリズム旅客船運航実証実験事業」では、クルーズ利用者向けに「船橋の梨直売所お買い物&ふなばしアンデルセン公園散策バスツアー」をメニューの一つとして開催した。参加者アンケートでは満足度は8割を超え、好評を得ていることから効果が見込めるものである。平成28年度は旅行業者に委託し市事業として実施したが、平成29年度以降は船橋市観光協会の事業として、参加料収入により運営する。

【官民協働】

ふなばしアンデルセン公園の魅力は、綺麗に整備された草花であるため、企業協賛によるアンデルセン童話をイメージした花壇や、造園業者が勧める品種を紹介する草花の見本ガーデンを、民間企業の負担により整備する。協力企業には、公園内での企業PRに協力する。また公園内施設を説明する「ガイドボランティア」や、花壇の植え付け・管理やフラワースクールなどのイベントを補助する「花と緑のボランティア」を一般から公募し、市民協働・官民協働による魅力的な公園づくりを推進する。

【政策間連携】

ふなばしアンデルセン公園の周辺には、本市特産の梨を初めとした農地が広がっている。この立地を生かし、地元農家・農協等と連携して、地域

団体商標登録が認可された「船橋にんじん」、「船橋のなし」など本市特産の農産物を販売するマルシェのようなイベントを開催する。市外からも多く訪れる来場者に対しPR・販売することで、交流人口・地域消費拡大だけでなく、農業活性化も図っていく。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
ふなばしアンデルセン公園の売店事業年間利益	29.84百万円	0.16百万円	1百万円	3百万円
観光入込客数	174.4万人	1.6万人	4万人	6万人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
ふなばしアンデルセン公園の売店事業年間利益	3百万円	3百万円	10.16百万円
観光入込客数	7万人	7万人	25.6万人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を企画財政部政策企画課で取りまとめて、「船橋市まち・ひと・しごと創生懇話会」を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 71,000千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 観光ツアー事業

事業概要：市北部にはアンデルセン公園があり、臨海部には大型商業施設、工場見学の出来る京葉食品コンビナート、ふなばし三番瀬海浜公園などがある。それぞれ集客力ある観光資源であることから、これらを回遊する観光ツアーを観光協会が市と協働して開催することで、相乗効果を生ませ、各施設において更なる集客増加を目指す。

実施主体：船橋市、船橋市観光協会

事業期間：平成29年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、「船橋市まち・ひと・しごと創生懇話会」において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

目標1

ふなばしアンデルセン公園の売店事業年間利益については、年度末時点で、公園の指定管理者である公益財団法人 船橋市公園協会からの報告により把握する。

目標2

観光入込客数については、年末時点で、各観光施設の管理者からの報告により把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
ふなばしアンデルセン公園の売店事業年間利益	29.84百万円	0.16百万円	1百万円	3百万円
観光入込客数	174.4万人	1.6万人	4万人	6万人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
ふなばしアンデルセン公園の売店事業年間利益	3百万円	3百万円	10.16百万円
観光入込客数	7万人	7万人	25.6万人

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、「船橋市まち・ひと・しごと創生懇話会」の開催結果について、船橋市ホームページにて公表する。